

「馬場校下町会連合会」とは

「馬場校下町会連合会」(以下 町連)とは、馬場校下にある29町会の町会長を以って構成する組織です。

町連の目的や事業などに関しては、「馬場校下町会連合会 会則」(別途掲載)において定められていますが、それらを達成するために町連は、上部団体である「金沢市町会連合会」に加盟しています。

「町連」は、各町会から世帯数分の分担金を集めて、各種団体に対して活動資金の一部として配分しています。

また、公民館の建て替え資金、消防車の買い替え費用についても、金沢市の定める地域負担割合分を、同じように各町会から集めて、それぞれに渡しています。

このように、「町連」は地域を舞台に活動する各種団体の活動を、資金面で支える支援組織とも言えます。この観点に立って、町連は町連を中心にした「各種団体連絡協議会」を組織し、各団体と連絡・連携を取り合っています。

町連は、地域の良好な生活環境の維持向上を図るために、金沢市をはじめとする行政機関と緊密な連絡連携を取り合っています。

また、「東インター大通り景観形成協議会」や「浅野川の環境を守る会」などの外部団体に参加し、環境改善のために問題点があれば、関係行政機関に要望活動を行っています。

全国各地で起きる災害の被災地支援のための募金活動や、赤十字運動に対する各種募金活動を各町会を通じて行っています。

「馬場校下自主防災会」は、町会長によって構成されています。平時の校下町連組織が、災害時にはそのまま「自主防災会」組織へと衣替えして、事態に対処することになります。

安全・安心社会の実現には、最寄りの派出所や警察署との連携が欠かせません。町連は、浅野川大橋交番、金沢東警察署と、定期的な協議会や防犯委員会の活動を通して連携をとっています。

(8) 町会とつながるさまざまな団体との協働

金沢市の町会組織は、長い歴史と伝統を引き継ぐ「住民による住民のための」自治活動組織です。町会は、明るく住みよいまちづくりを進め、地域の課題を住民が共に協力して解決します。そして、さまざまな団体と共に一緒に活動しています。

《町会のつながり図》



《町会》は、一定の地域・建物を基盤とした区域で分けられ、単位町会と呼ばれます。単位町会は、さらに複数の班によって構成されているのが一般的で、私たちの毎日の暮らしに最も身近なつながりを持っています。

《校下(地区)町会連合会》は、おおむね小学校の通学区域ごとに組織されています。町会長経験者など、地域の事情にあかるい町会連合会会長や役員が中心となり、町会長会議などを通じて運営されています。教育、福祉、環境、防災など住民生活に関わる多くのことが校下(地区)単位で行われていることから、地域の基盤組織としての重要な役割を担っており、町会と行政を繋ぐパイプ役となっています。

《金沢市町会連合会》は、市内62の校下(地区)の町会連合会で組織されています。各校下(地区)の町会連合会会長が理事として運営にあたり、金沢市と協働して「明るく住みよいまちづくり」をめざし活動しています。理事会のもとに「総務委員会」「町会活性化対策委員会」「渉外委員会」「環境・美化委員会」「安全安心委員会」「教育・人材委員会」の6つの専門委員会を設け、様々な地域課題の解決に取り組んでいます。

